



# 日本最大のビールの祭典が、さらに大きく！ ビール200種飲み放題！ / 飲み干せ 12,600L！

## 「ジャパン・ビアフェスティバル横浜 2008」9/6・7開催

日本地ビール協会(西宮市/会長・小田良司)は、2008年9月6日(土)・7日(日)の2日間、横浜大さん橋ホール(横浜市中区)において、日本最大のビールの祭典「ジャパン・ビアフェスティバル 2008」を開催致します。今イベントは様々なスタイルの地ビールを飲み比べてもらい、地ビールの魅力を体感して頂くことを趣旨として1998年より開催しているものです。

会場には北海道から沖縄まで日本各地の地ビールを中心に、ドイツやベルギーなど海外の地ビールが工場直送の樽生で(一部除く)集結。その全てが入場料のみで飲み放題になります。

昨年と同イベントでは約120銘柄のビールが集まりましたが、今回はそれを一挙に80銘柄も上回る200銘柄のビールが集まります。もちろん、その全てが入場料のみで飲み放題です！

### ■ ジャパン・ビアフェスティバルとは？

今フェスティバルは出展ビール会社数、出展ビール銘柄数、会場の広さ、どれもが日本最大のビールの祭典です。1998年の東京開催が最初で、2003年からは大阪会場を追加、2006年より横浜会場を追加し、現在では春は東京、夏は大阪、秋に横浜と毎年3都市で開催されています。

たくさんのスタイルの地ビールを飲み比べてほしいという目的から入場料制で行っており、入場料のみで1回50ccずつ何度でも試飲できる(飲み放題)、というシステムが特徴です。

来場者は年々増加傾向で、5月5・6日に開催した東京会場には5,500人、5月31日・6月1日開催の大阪会場には3,000人を動員。そして秋の横浜会場は7,000人の動員を見込んでいます。

これまでの開催実績により算出される1人当の試飲ビール量は1.8L。見込み来場者数が7,000人ですので、当日会場で飲まれるビールの予想量は1.8L × 7,000人 = 12,600L。これは、缶ビールで(350ml)で36,000本分にもなります。(イベントではほとんどのビールが樽生です)

### 《イベント概要》

【イベント名称】	ジャパン・ビアフェスティバル横浜 2008
【日時】	9月6日(土) 14:30~19:00 (ラストオーダー 18:30) 9月7日(日) 11:30~16:30 (ラストオーダー 16:00)
【会場】	横浜大さん橋ホール (神奈川県横浜市中区海岸通1-1-4)
【入場料】	前売券 3,600円 / 当日券 4,100円
【前売券】	当協会、チケットぴあ、ファミリーマート、サンクス、ローソン、e-plus 他で発売中
【出展ビール】	60社200銘柄(予定)
【主催】	日本地ビール協会

### 本件に関するお問い合わせ先

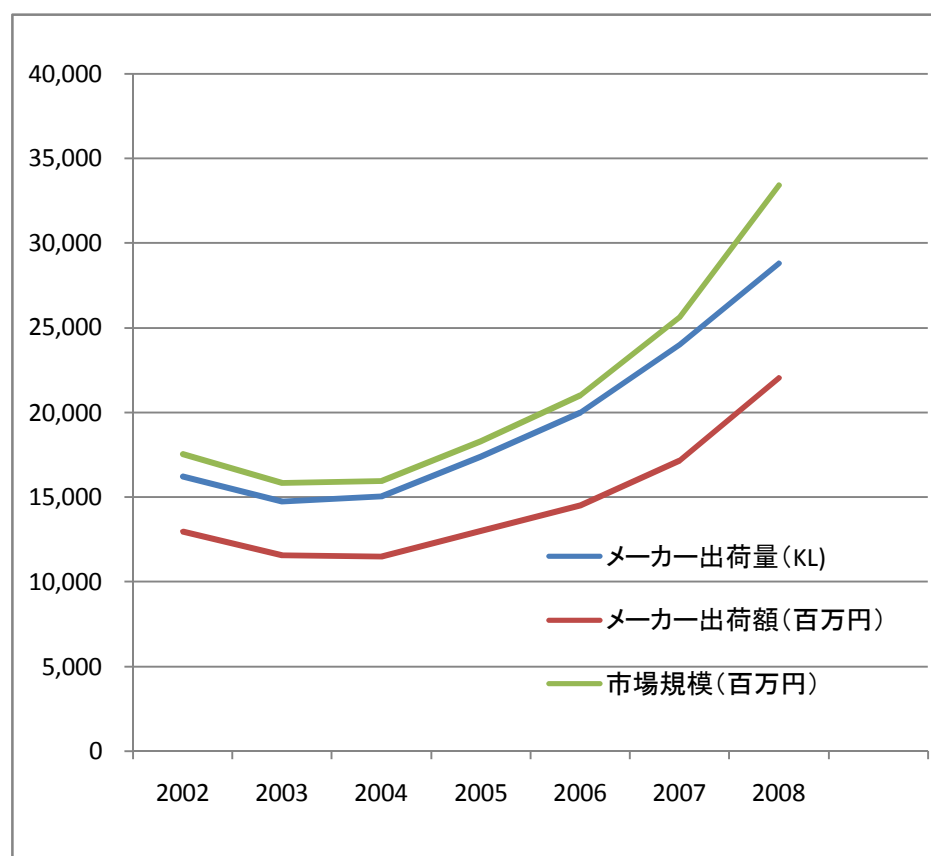
日本地ビール協会 担当 小田良司(090-3488-7000) HP : <http://www.beertaster.org/>  
TEL:0798-70-0911/FAX:0798-70-0912/住所 : 〒662-0072 西宮市豊楽町11-22-203

## 地ビールの市場規模推移

太字は国税庁資料より

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
							予測
調査数	165	171	195	185			
醸造者数	224	224	223	224	224	224	224
回答率			87.40%	82.60%			
KL(回答準拠)	11954	11269	13164	14375			
KL伸び率	-	-	-	-			
平均単価	799円	783円	763円	746円			
メーカー出荷額(百万円)	9,555	8,823	10,046	10,730			
(IF)回答率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
メーカー出荷量(KL)	16,228	14,762	15,061	17,403	20,013	24,016	28,819
KL伸び率		-9.0%	2.0%	15.6%	15.0%	20.0%	20.0%
平均単価	799円	783円	763円	746円	725円	715円	765円
メーカー出荷額(百万円)	12,971	11,557	11,494	12,990	14,509	17,171	22,047

「指数」	74%	73%	72%	71%	69%	67%	66%
市場規模(百万円)	17,528	15,832	15,963	18,296	21,027	25,628	33,404



### ポイント

- 1 2003年を底に高い年率で伸びている。
- 2 2003年から首都圏でブームが起こる。
- 3 平均単価の減少は、料飲店への供給が伸びたため
- 4 なお、上記の「指数」はビアパブなどの料飲店の増加から換算
- 5 2008年は1%当り50円程度の値上げが見込まれる